

自治連

あさか

平成20年
2月1日
第3号

朝霞市自治会連合会



連携して前進を



朝霞市自治会連合会会長 島 礼次

新年になり1か月を過ぎましたが、「自治連あさか」の発行にあたり遅くなりましたが、あらためて新年のお喜びを申し上げます。

自治会連合会の皆様には、日ごろから自治連・自治会・町内会活動にご支援とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

昨年は自治会連合会の行事も皆様方のおかげで無事終わりましたが、本年も自治会連合会として解決すべきさまざまな問題がありますが、市民と行政・議会と連携を密にし、昨年同様に自治連の前進に皆様方のご協力を重ねてお願いいたします。

最近では犯罪が多く発生していますが、当連合会でも積極的に防犯に力を入れ、行政と協働して各自治会・町内会で防犯パトロール隊を結成し、各地区でパトロールを行って安全・安心で住みよい「まちづくり」を今後とも推進してまいりたいと考えています。

昨年は市制40周年記念事業が行われましたが、自治会連合会はもとより各自治会・町内会・各団体も積極的に参加していただき、盛大に各行事が行われました。特に市民まつり「彩夏祭」においては、自治会連合会の皆様には多大なご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

最後に自治会・町内会のご発展と会員皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。ごあいさつといたします。



朝霞市長

富岡勝則

自治会連合会の皆様におかれましては、日ごろより市政運営に対しまして温かいご理解とご協力をいただくとともに、住民自治の地域づくりにご尽力されていることに厚く御礼申し上げます。

昨年は、自治会長研修会において、未だに地震の爪痕が残る新潟県長岡市に視察を行い、地震の恐ろしさと地域コミュニティの必要性を学ばれましたが、実際に現地へ赴いての研修だけに、たいへん有意義なものであったと思います。

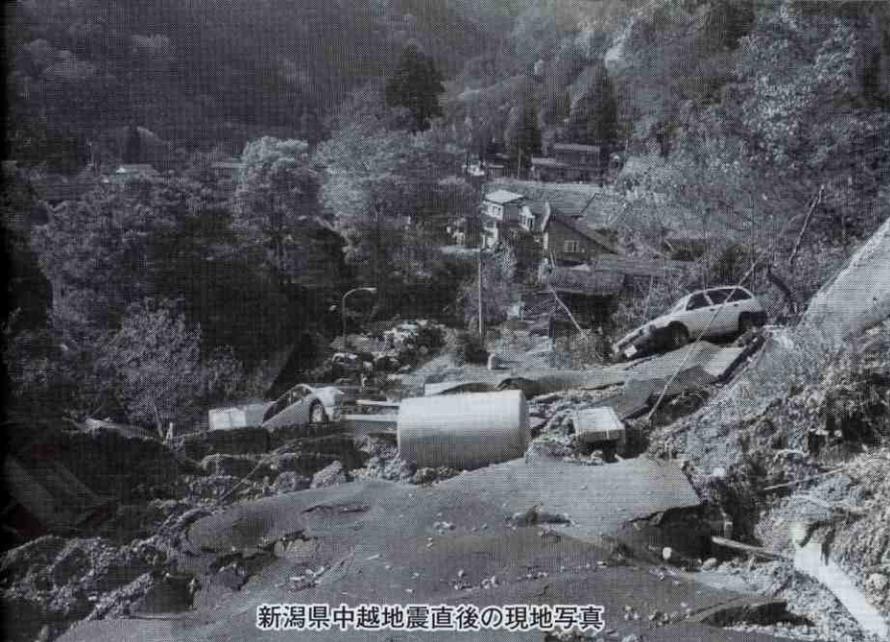
私の政策実行宣言においても、自主防災組織結成の促進を掲げており、特に今年は八都県市合同防災訓練において朝霞市が会場となることから、行政といたしましては本事業の成功に向け、力を注いでまいります。また、自治会の皆様におかれましては、この事業を機にさらなる地域防災力の向上を図っていただきたいと存じます。

各自治会の特色ある活動を掲載したこの「自治連あさか」が多くの市民に愛読され、自治会活動に対する理解が深まることをご期待申し上げます。朝霞市自治会連合会がますますの活躍、ご発展を祈念申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

自治会長研修会

—まちづくりの再生—

自治会連合会では、毎年テーマを決めて自治会長研修会として先進地視察などを行っています。今年度は、防災をテーマに平成19年11月12、13日に開催し、新潟県長岡市を訪問し、当時の状況を示したビデオ上映や担当者からの説明を受けたほか、現在も震災の爪痕が残る旧山古志村（現長岡市）の視察を行いました。



新潟県中越地震直後の現地写真

自治会長の対応について

Q 個人として常の心がけはもちろんですが、自治会長という立場にある現在、いざの時、特にどんな心構え、心得が必要でしょうか。緊急時、避難時、また、復興期どんな準備、どんな覚悟、どんな心遣いが必要でしょうか。

A 【心構え】生命・身体を守るのは、自分たちであり、「自らの地域は自らで守る」という意識づけを会員に対して行うことが大切です。

【緊急時】市が情報の発信を行っても、市民が受けとれない場合があります。そのため、各町内会長にラジオを配布し、地域での情報伝達をお願いしております。

【復興期】新しいまちづくりのため、6m幅道路への拡張が必要な地域があります。その場合、市へ土地の供与が必要なため、土地所有者への働きかけが期待されます。

Q その他にどのような対応をされましたか？

A ①一定期間、有料ゴミを無料にするとともにゴミを出す際の分別を不要としました。②民生委員の自宅を、防災マップに表示しました。③小学校を避難所にしましたが、和式トイレしかなく膝の悪い高齢者から利用できないという要望がありました。

●過去5年間の自治会長研修会実績

年度	テーマ	視察先
平成14年度	自治会／環境／防災	沼津市自治会連合会(静岡県)
平成15年度	自治会／防犯／福祉	木更津市区長会連合会(千葉県)
平成16年度	環境	太平洋セメント(株)埼玉工場(日高市) 太平洋セメント(株)熊谷工場(熊谷市) 長野陸送ハサマ処分場(長野県)
平成17年度	自治会／防災／防犯	ひたちなか市自治会協議会(茨城県)
平成18年度	環境	TEPCO鬼怒川ランド(栃木県) 今市ダム、今市発電所(栃木県) 中央化学(株)騎西工場(騎西町)



長岡市役所での研修会

今年度の視察のテーマは「防災」です

平成16年新潟県中越地震で
大きな被害を受けた
旧山古志村(現長岡市)
を視察しました



旧山古志村での現地視察

研修会において、震災から今に至るまでの対応について、長岡市役所危機管理防災本部職員からQ & A方式で伺いました。質問内容は次のとおりです。

ボランティア活動について

Q1 ボランティアの受け入れについて、組織はどのようになっていますか？

A1 組織は、本部長(社会福祉協議会会長)をトップに、総務班、ニーズ班、ボランティア班、マッチング班、資材班、山古志班、引越し班の7班で構成しました。

Q2 拠点はどのような場所にされましたか？ 拠点の範囲と拠点数も教えてください。

A2 拠点は、社会福祉協議会に設置されていたボランティアセンターを使用しました。拠点の範囲は市内全域が対象です。拠点数は1か所です。

Q3 ボランティア活動中に一番必要とされることは何でしょうか？

A3 被災者のプライバシーを配慮することや、地元ボランティアによる現地案内人が必要です。

Q4 ボランティアとして活動された方は何人くらいですか？

A4 延べ約2万人です。

Q5 ボランティアの待遇(食事・宿泊)については、どうされていましたか？

A5 ボランティアの待遇は特に行いませんでした。しかし、食事については、避難所で余った食糧を提供しました。宿泊先については、近隣市からの提供もあり、民家や無料宿泊所または低額の宿泊所の紹介を行いました。

市の対応について

Q 各自治体では、それぞれの対策を講じていると思いますが、長岡市としての震災前と震災後の危機管理上の取り組みの中で大きく変わった点をお聞かせください。

A 平成16年の地震は市民及び市職員も初めての経験であったので、とても戸惑い、納得できる対応ではなかったと考えます。あらゆるものが、1つの課に集中したため、さまざまな問題が生まれました。そのため、全課で対応できるようにネットワークを構築しました。また、全庁で災害研修を受講し、業務の検証と見直しを行いました。

社会福祉協議会の対応について

各自治体では、それぞれの対策を講じていると思いますが、長岡市としての震災前と震災後の社会福祉協議会の災害時の対応の中で、次の2件につきまして大きく変化した点をお聞かせください。

Q1 災害時における要援護者に対する支援等はどのようなになっていますか？

A1 社会福祉協議会を通して、要援護者の安否確認を行いました。
障害者及び高齢者の名簿作成を行っています。この名簿は、通常時でも自治会長は閲覧できるようにしております。

Q2 ボランティア受け入れ態勢はどのようになっていますか？

A2 平成19年に改訂した地域福祉計画において、災害ボランティアセンターを社会福祉協議会に位置づけました。



各地区の自治会活動報告



第一区

緑ヶ丘親交会の紹介

緑ヶ丘親交会

会長 鈴木 昭八

緑ヶ丘親交会は、昭和24年発足以来59年の歴史をもつ朝霞市で最古の町内会であり、顧みると昭和15年陸軍被服しょうの倉庫が赤羽から朝霞に移転するに伴い、昭和16年住宅営団が288戸の住宅を建設したのが緑ヶ丘の第一歩です。昭和20年終戦により陸軍は解体され、23年住宅公団による資産の清算で居住者への払い下げが始まり、払い下げを受けた人々の間から、町内会をつくろうという話もちあがり、有志の努力により町内会が発足しました。「緑ヶ丘」の名称は公募により決定、昭和27年1世帯当り2200円を拠出し、中央公園など3か所の共有地658坪を取得、平成3年地方自治法の一部が改正され、団体名義で登記可能となり手続きが楽になりました。

ここで緑ヶ丘親交会の組織と行事について簡単に説明します。現在710世帯を6地区と25班に区分し、2つのマンションの住民で構成され、6外郭団体にささえられ、2月の初午祭に始まり、春は樹齢65年の公園の桜のライ

トアップ、5月の子供の「ふるさとづくり」例大祭、6月の親善女子バレーボール大会の開催、8月の納涼盆踊り大会、9月は紅白町内運動会と、敬老の日は対象者へ祝品の配布や市民会館へのバス送迎、10月の市民体育祭参加と下旬に催す42年連続となる緑ヶ丘文化祭により、住民相互の交流を図っており、12月は27年続いている餅つき大会と、ついた餅の配布の実施。

また、年間事業となっているもので、20名を超す女性ボランティアにより、うららの会を結成し、高齢者の引きこもり防止を目的として月3回水曜日に会合を開き、食事会や各種の催しを行い楽しんでおり、ほか自主防犯パトロール隊の巡回を毎週木曜日に実施。

特に50年にわたり、12月から2月末までの火災予防啓蒙の夜警は全戸参加で地域の安全で安心の町づくり



第二区

児童・生徒の安全は地域の目

三原町内会

会長 室谷外喜男

我が三原町内会は、朝霞市の西部に位置し新座市に隣接しております。あんにたがわず、道路が狭く、家屋も密集しています。反面、隣近所と親密に交わることのできる、人情味あふれる環境です。

少子高齢化の進む中、子供たちは思わぬ事件に巻き込まれ、また、高齢者の方々は、ひったくり、交通事故、そして振り込み詐欺の被害に遭うという事件が全国的に発生している昨今です。

我が三原町内会の児童・生徒たちは、幸い過去において不幸な実害に遭うことはありませんでした。しかし、一歩間違えば取り返しのつかない事件、事故につながるという事例が数回発生しています。

学区の児童・生徒の安全を見守るため、町内会行事の一環として、平成18年から、6月、9月、また、平成19年から、4月、9月を防犯パトロール月間と位置づけ、防犯グッズを着用の上、下校時に合わせて実施しています。

4月は希望と期待、そして不安で胸いっぱいの新入生、春休み気分が抜けない2年生以上の児童たち。9月は長い夏休みから新学期へギアチェンジできない児童を、地域全体でやさしく、時には厳しく見守り、誘導整理しながら「こんにちは、お帰りなさい」の声かけ等あいさつを繰り返します。

開始2日目くらいで、児童たちから積極的に「ただいま、こんにちは」の元気な声、笑顔が見られるようになります。

パトロールに参加いただく方々は、当然のことながら仕事をリタイアされた高齢者がほとんどで、孫を見る思いで接しています。

大掛かりな防犯は、警察署、消防署のはんちゅうとして、地域でできることから地道に取り組み、地域の目で児童・生徒の安全に寄与できれば……の思いで頑張っています。

パトロール稼働実績

平成18年6月/85名 9月/158名
平成19年4月/96名 9月/131名

第三区

氷川神社と溝沼連合町内会との結びつき

溝沼第一町内会

会長 星野 隆

溝沼6丁目に在社する氷川神社は、4月と10月の第1日曜日に、市の無形文化財に指定された獅子舞の奉納が行われます。江戸時代より続いてきた安

自治連 あさが

全祈願、疫病はらい等のために舞うもので、現在も保存会の方々により傳承されています。

この氷川神社を舞台に毎年溝沼地区、泉水地区の一部の町内会を含めた7町内会で溝沼連合町内会の連合会を組織し、納涼祭「盆踊り」を中心とした地域住民のコミュニケーションを図る目的で活動を行っています。

4月の獅子舞、春の大祭が執り行われ6月にもなると、社務所に当連合町内会の各町内会長以下役員の間々が集まり、いよいよ納涼祭に向け綿密な打ち合わせのため幾度か会合を行い、さらに納涼祭実行委員会も立ち上げ、役員総出で準備に取り掛かります。7月に入り総勢70名の役員と関係者の方々も厳夏の中、やぐらかけをいたしました。

昨年も7月下旬の最終土・日曜日に納涼祭を開催いたしました。土曜日の本番当日は、氷川神社に地域住民の無病息災と納涼祭の無事を祈願いたしました。関係役員、努力が実り大勢の参加者に恵まれ、ご招待いただきました皆様の心温ま



るご支援などを賜り、おかげさまで無事に終了することができました。

開催中はゲームを主体とした子供広場、各町内会、溝沼の鳴子の会、溝沼青年部などによる焼きそばや焼き鳥、金魚すくい等の出店、太鼓連盟の方々などによって祭りを盛り上げていただきました。また、消防団による防災活動、自主パトロール隊による交通整理や防犯活動、近隣住民のご理解も協力もありました。

開催中特にうれしく思ったのは、300名に迫る子供たちが集まり、その笑顔を見させていただいたことです。その子供たちにとって良き思い出となつて心に残ることを、やがて大人となり私たちの地域活動を受け継いで欲しいと願い、2日間は躍動感あふれる子供たちに見とれ目を細めるばかりでした。納涼祭も終了した翌日、総勢50名の方が集まり後片付けをしました。後半はスコールのような雨に見舞われましたが、住民の協力で成しえる氷川神社を舞台としたこの祭りは、地域社会の人と人との結束の吸引力のため、続けることに改めて深く意義を感じました。

8月は、待望の市民祭りが開催され、ボランティア参加と当溝沼連合の鳴子隊の支援を行いました。また、溝沼自主防災会主催によって昨年に引き続き第十小学校において防災宿泊訓練を実施しています。

氷川神社社務所では、市民祭りに参加した鳴子隊（親子）の祝賀会と、納涼祭の報告会、さらに市民体育祭の準備に伴う打ち合わせなどさまざまな会合が行われます。

秋、氷川神社では新嘗祭、五穀豊穰の祭りがあります。年の暮れには皆さんを一年間見護つていただいた神様（氷川様）に御礼を申し上げ一年を締めくくります。

このように溝沼連合町内会の地域活動とは、昔から氷川神社を舞台として繰り広げられています。

第四区 各町内会 自治連第四区の町内会では……

旭通り町内会

会長 麦島 保

当地区のシンボル道路として、税務署前のけやき道路の清掃をボランティアで実施中です。青葉台公園の緑とけやき並木は生活に潤いと活力の源泉となっております。会員同志の親睦のため春の花見、秋の小旅行、ラジオ体操や防犯パトロールを、きめ細かに実施しています。

コンフォール東朝霞自治会

会長 海野 進

駅前位置する「コンフォール東朝霞」は、昨年3月に全棟が完成。生まれ変わった建物には、団地発足時の昭



▲こんなに子どもがふえました
和35年以降、平成19年入居の方まで、年齢層の厚いコミュニティを形成しています。猛暑の中、開催した「夏祭り」には「身近で楽しかった」等の感想も。「防災訓練」「餅つき」行事も行っています。

富士見町内会

会長 相ノ谷昌男

当町内会は、年間を通して防災・防犯活動等各種活動を実施中です。活動を行う際は、相手の協調性や人生観に基づく哲学を理解することが必要です。理解力を深める一助から祭等で触れ合うことで人間関係が充実します。当町内会の「富士見祭」では、昨年も多くの出会いや素晴らしい縁が結ばれました。今後も祭に限定せず、種々の活動を通して地域住民の縁結びを展開していきます。

中央町内会

会長 金子 寛允

昭和47年に発足した当町内会ですが、近隣はマンションの建設が進展、会員の減少と高齢化が顕著です。若い会員の入会でエネルギーを復活したいと思います。現状は防犯パトロールと夏祭りに全力投球しています。

仲町町内会

会長 水久保龜幸

当町内会は「皆で明るい、きれいな街づくり」を合言葉に役員はじめ会員一同、心を一つにして頑張っています。主な活動は①毎月曜日(日)に駅北口広場清掃と花いっぱい運動の展開②第三日曜日に各区の清掃実施③毎月・金曜日は児童下校時の防犯活動実施④駅北口整備に伴い、近隣町内会長と連動、駅「北口」を「東口」に改称する運動を推進中。駅の玄関口として恥ずかしくないよう、より良い街づくりに奮闘中です。

(文責 本町霞台町内会 会長 種谷 雄彦)

第五区 霞台町内会

会長 岡崎 和広

第五区 霞台町内会の紹介

霞台町内会は、朝霞市の南東に位置しており、以前は湧き水も出ていたといわれる越戸川沿いの静かな地域です。世帯数は多くも無く、少なくとも無い290世帯ということもあって、またまりのある、また、世代間交流も行われている仲のよい町内会です。

以下、活動を紹介させていただきます。

△安心・安全のまちづくり▽

市の補助金を活用し、町内のあちこちにまちかど消火器を設置いたしました。設置してしばらくたったある日、空き地で火事があり、会員のみなさん

がまちかど消火器を使用して、無事火事を消し止めるという事件がありました。

その後、消防署から初期消火の協力に対しまして表彰状が贈られ、その模様が新聞にも掲載されました。



平成17年8月に霞台町内会防犯パトロール隊を結成し、活動を始めてからはや2年が経過しました。現在まで、週に1回のパトロール活動を継続して行っています。先日は埼玉県のコバト

ンリレーにも参加したところ。パトロール隊のみなさんには、心より感謝しています。

△市民体育祭への参加▽

例年、秋に行われています朝霞市市民体育祭に毎年参加しています。みんなで楽しもうをコンセプトに、当日はすべての種目にエントリーし、勝ち負けは二の次、仲間を一生懸命に応援し、わいわい楽しく秋の1日を過ごしています。

△もちつき大会の開催▽

年末には恒例の「もちつき大会」を行って行きます。何年か前から始めたもちつき大会ですが、大勢のみなさんに

ご来場をいただき、つきたてのおもちを召し上がっていただき、好評を博しております。

子供たちが小さな体できねを振り上げもちをつく様子も、微笑ましいものです。

会長といたしましては、みなさんが霞台町内会に住んでいてよかったですといわれるようにしていきたいと思っております。

第六区 朝霞のへそは自分たちの手で

岡町内会 副会長 比留間 明

朝霞市の地図を広げると、ちょうど真ん中に私たちが活動している岡町内会があります。人間で言えば「へそ」に当たるところから、朝霞市の「へそ」という自覚を持って、古くから町内会活動も積極的にすすめてきたところで、

年間の事業は部単位で独自の予算を組んで実施していますので、その一端をご紹介します。

文化部は、春の桜祭り、夏の納涼盆踊り大会があります。特に盆踊り大会のやぐらは、中古品を安く譲り受け、ペンキを塗り直し、自分たちの手で組み立てています。また、模擬店も子供育成会や野球部の応援を得ながら手作りで、10種類の販売を手がけています。より安く、おいしく、安全な食べ物を提供していますので大変人気

があります。

体育部は、町内会大運動会、市民体育祭の参加があります。町内会の運動会は、子供からお年寄りまで、誰でも参加できるプログラムを主体に構成することを心掛けています。特に、町内が10地区に分かれていますので、最後の地区対抗リレーになりますと一段と盛り上がり、コミュニケーションの場としても最高のフィナーレを迎えます。

婦人部は、各部の事業の補佐的な役割を担っていますが、婦人部主催として年1回、町内会員を対象とした親睦日帰りバスツアーを実施しています。各部の事業の合間を縫っての企画だけに、時期や場所など選定に苦慮しているところですが、参加者からは大変好評をいただいています。

平成18年度から、新たに防犯パトロール部を結成しました。最初は、個人が自主的に、散歩や買い物



等を活用して、防犯用の帽子、ベストを着用してパトロールすることにしました。今でも個人的なパトロールは続けていただ

自治連 あさが



PTAの役員さんが予定表を作成し、回覧でお知らせしています。はじめは、いろいろな問題点もありましたが、パトロール

下内間木防犯パトロール隊は、平成18年3月に結成されました。4月8日よりパトロール開始、小・中学校下校時、3人体制で、町内3か所です子供たちの無事を見守ります。小学校の下校時間午後3時より4時過ぎまで行われています。毎月の学校のスケジュールを、

第七区 わがまちパトロール隊

下内間木町内会
会長 無木 常治

すが、18年10月の県内一斉防犯パトロールを機に、月に一度ですが、パトロール部員全員で実施することとしました。私たちの地域は二小と六小に通う子供たちなので、3班に分かれて1時間ほど巡回しています。朝霞の「へそ」は自分たちの手で守り、自分たちの手で地域を活性化していくという気持ちで今後も活動を続けていきたいと考えています。

PTAの役員さんが予定表を作成し、回覧でお知らせしています。はじめは、いろいろな問題点もありましたが、市内の皆様の協力をいただき、自然を大切に守っていききたいです。

また市内きれいなまちづくり運動にも、町内会会員の皆様とともに小・中学校の生徒さんも参加協力してくれています。さらに、下内間木地区は大変不法投棄が多いのでとても迷惑しています。防犯パトロールによって、町内の皆様の交流も深まり、災害時についても、町内会として、いろいろ話し合いをしています。普段交流のない方も災害が発生した場合、皆様で協力、助け合いしましょうと話合っています。

をすることに對して、ご理解いただくのに苦労しました。町内会全世帯の皆様のご協力をいただき、計画通り進んでいます。暑い夏の日、また寒い冬、雨の日、風の日など当番に当られた方には、大変ご迷惑をおかけしておりますが、皆様の無事を願って、気持ち良く協力して下さっています。担当に当たった方は、防犯用具（緑のチョッキ、帽子など）身に付けます。子供たちも、当番に当たったおじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さんに気持ち良くあいさつしてくれます。今現在、何の被害も問題点も起きず無事に過ぎていきます。

第八区 浜崎南親和会 自主的な町内会活動を めざして

会長 新川 綾子



当会は、朝霞台駅南口徒歩数分、もと人參畑に昭和40年ごろ住宅が建ち始め、昭和48年4月武蔵野線開通とともに当市随一の交通至便になった地域です。付近

町内会は昭和38年発足、世帯数300余り、地元の方皆無、各地方出身者の多様な集まりです。当会の目玉行事の夏祭りは、1代目会員がやや老齡気味なため、2代目会員と、道ひとつ隔てたマンション住人との協力行事です。昼はおみこし巡行をはじめ、子供中心の行事、ビンゴゲーム時などは小さな公園がゆれるような感じですが。夜は、さいか幼稚園に続く盆おどりなどの一日です。

には中央病院、駅前交番、市出張所、大小スーパー数店舗など、生活するには便利の上なのですが、その反面緑少なく高層マンションが林立しつつある地域です。

最近では遠くからお孫さんたちも見えてるようです。このお祭りのポリシーは、町内会全員参加をモットーとしていくところですが。防災活動は、平成10年4月の総会にて「自主防災組織」を設立し、それ以来毎年年度初めサプリーダの会（9人）にて訓練の重点目標をたて行っています。防災用品の備蓄は、補助金を利用させていただきながら逐次調べています。

防犯対策は、平成17年5月の全体会における了解のもと、1班10人、4班編成で月2回自主的に町内全域を巡回する体制です（その年度の班員は年間6回参加です）。そのほか月初めの回覧にて一般参加を呼びかけ常時10数人、和気あいあいと、拍子木の音とともに声掛けしながらのパトロール。地域が一体化している時を共有している感じがするひとときです。

これからも、今まで通り誰にも公平が一番に心掛け、役員ばかりに負担がかからぬよう会員各位の自覚ある協力を喚起しながら、あまり力まず「継続は力なり」をモットーになんとか安心な空気漂う町内会にと願っております。



平成19年度朝霞市自治会連合会役員 (敬称略)

役職	名前	団体名
顧問	金子 好隆	朝霞市社会福祉協議会長
会長	島 礼次	向山自治会長
副会長	梶原 孝男	下の原町内会長
副会長	相ノ谷昌男	富士見町内会長
副会長	伊藤 允光	浜崎上町内会長
会計	岡崎 和広	霞台町内会長
会計	松田 忠男	浜崎団地自治会長
理事	塩野 昌弘	膝折宿町内会長
理事	荻原 久雄	県営朝霞幸町団地自治会長
理事	高橋 優	下の原南部町内会長
理事	星野 隆	溝沼第一町内会長
理事	獅子倉康治	溝沼下町内会長
理事	種谷 雄彦	本町霞台町内会長
理事	谷内 周平	栄町町内会長
理事	渡辺 勝治	東南部町内会長
理事	醍醐 清	田島町内会長
理事	新川 綾子	浜崎南親和会長
監事	徳永 二	浜崎親交会長

※監事の清水上の原町内会長は、平成19年12月29日にお亡くなりになりました。謹んで、ご冥福をお祈りいたします。

広報紙発行編集委員会名簿

委員長	所属	委員
伊藤 允光	浜崎上町内会	
1 区	シャルマンコーポ第二朝霞自治会	川野紀代美
2 区	下の原町内会	梶原 孝男
3 区	溝沼第一町内会	星野 隆
4 区	本町霞台町内会	種谷 雄彦
5 区	霞台町内会	岡崎 和広
6 区	東南部町内会	渡辺 勝治
7 区	田島町内会	醍醐 清
8 区	浜崎親交会	徳永 二

平成19年度 退職自治会長

(敬称略)



在職4年 野崎 京子
在職4年 浅川 浩
在職5年 岩渕喜代子
在職6年 橋本 繁
在職7年 金子 好隆

溝沼第三町内会
溝沼下町内会
溝沼住吉町内会
溝沼第二町内会
城山町内会

在職1年 加久 和俊
在職1年 島 穰一
在職1年 七田 恵子
在職2年 石原 和紀
在職2年 栗原 幸夫
在職2年 深津 廣良
在職2年 大野 義定
在職4年 須崎 英一

上内間木町内会
県営朝霞幸町団地自治会
中央町内会
岡町内会
東南部町内会
富士見台自治会
ローリエ朝霞台自治会
霞ヶ丘親睦会

表紙の写真

平成19年5月23日、市民会館で自治会連合会定例総会が開催されました。在職7年の金子好隆様の他、在職2年以上で退任された方に市長・連合会長の連名による感謝状と記念品が授与されました。

平成18年度事業報告、決算報告および監査報告、平成19年度事業計画、予算案、会則の改正について審議され、すべて原案どおりに可決承認されました。

編集後記

昨年、自治会長研修で旧山古志村を訪ねた。まさに山が動いたという地震の爪痕は痛々しい。今、まさに高齢化社会を迎え、自治会の果たす役割がここでも強く感じられた。人と人の関係が希薄な昨今、地域の潤滑油となり災害時にも大きな役割を果たす自治会の存在は大きい。地域コミュニティが活性化するためには自治会活動について市民に広く理解されることが非常に重要で、この広報紙が少しでもお役に立つことを願っている。

自治会・町内会では 3Rを推進するために 次のような活動を進めています

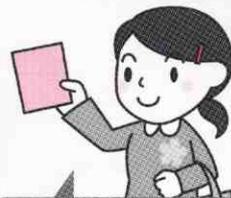
スリーアール 3Rとは何か？

それでは、具体的に3Rとは
どのようなことを行うのか
見てみましょう。

リデュース

Reduce

使い終わった
あとに出るごみの量を
少なくすること



簡易な包装の製品を選んだり

詰め替え製品を使うことも

ごみを減らそう

Reduce



リユース

Reuse

一度使った物を
ごみにしないで
何度も使うこと

壊れた物を修理して
長く使うことも

ビールびんや牛乳
びんは洗って何度
も使っているんだ



使わなくな
ったものをバ
ザーに出すの
もリユース

物を大切にね！

Reuse



リサイクル

Recycle

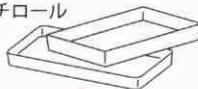
使い終わった物を
もう一度資源として利用し、
製品をつくること

使い終わった製品を再度資源として利用することで、エネルギーや資源を節約することもできるのね！

再び資源として
利用しよう

Recycle

プラスチック・
発泡スチロール
トレイ



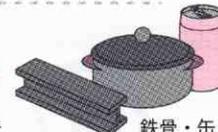
ボールペン・はさみ・三角定規など

紙パック



トイレットペーパー・
ノートなど

アルミ缶・スチール缶



鉄骨・缶・鍋など



朝霞市の『ごみの出し方パンフレット』が新しくなりました!

地域リサイクル活動推進補助金制度の実施

自治会・町内会・PTA・子ども会などで、リサイクル団体を作り市に申請します。

- 詳しくは資源リサイクル課 ☎048-456-1593へ

家庭ごみ訪問回収

高齢や障害のために、集積場へのごみ出しが困難な世帯に、週1回玄関先まで委託業者が回収に伺います。

集めるごみは、可燃ごみ、不燃ごみ、資源物の3種類。書類審査・訪問聞き取りがあります。

- 詳しくは資源リサイクル課 ☎048-456-1593へ



ペットボトルはつぶして

ペットボトルは、つぶして回収に出しましょう。家庭や集積場でも、体積が減って、扱いやすくなります。

キャップとラベルは必ずはずし、「プラスチック資源ごみ」に出してください。

中身は使い切り、簡単にゆすぐことをお忘れなく。



レジ袋をもらわない

買い物には、自分の袋（マイバッグ）を持っていきましょう。レジ袋の原料は石油です。全国では年間300億枚のレジ袋が使用され、県内では21億枚が消費されています。環境にやさしいエコバッグを使いましょう。



雑紙って?

「ざつがみ」と読みます。資源として回収される新聞紙、チラシなどのほかの紙類のことで、紙箱類、包装紙、紙袋、紙缶、厚紙、コピー用紙など。小さな紙は、散らばらないよう紙袋に入れて出してください。

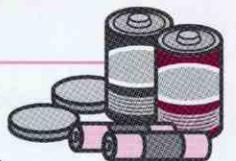
古紙のリサイクルは、森林資源の節約になります。



有害ごみって?

蛍光灯、電球、乾電池、水銀体温計など。無色透明な袋に入れて、中身が分かるようにして出してください。

ボタン電池、充電式電池は出せません。売っているお店の回収箱に戻しましょう。乾電池など細かいものは、散乱しないようご注意ください。



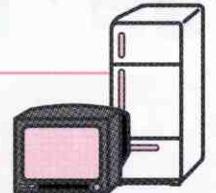
生ごみは水を切って

生ごみの水分はよく切って出しましょう。焼却炉に悪い影響を与えるほかに、悪臭を放ったり集積場を汚したり、不衛生です。不要になった紙で包んだり、新聞のチラシや包装紙で簡単な容器や袋を作り始末するのも水切りに一役買います。



家電リサイクル法

家庭電化製品のうち、テレビ、エアコン、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機は粗大ごみに出すことはできません。法律でリサイクルすることが決められています。買ったお店に連絡するか、資源リサイクル課へ電話（048-456-1593）して引取業者を紹介してもらいましょう。



必要でなくなったものを、必要としている人にもう一度!!

このマークを覚えましょう!

紙製容器包装

プラスチック製容器包装

飲料・酒類・しょうゆ用のPETボトル

スチール缶

アルミ缶

